らあと二ヶ月經つとハルビ

王計處三輪屬官の

嚴重處分

もの百點、諸洲國産

は全て元豪北病院にしたが、同會看護婦

橋通成川派遣婦會は約一ヶ月成川豐松市の経營になる日本

員

五百人分の豫防注射液を携

3

病菌撲滅

となったが、いよいよ罪狀明白となった、三輪は昨年廣島税となった、三輪は昨年廣島税となった、三輪は昨年廣島税をなった、三輪は昨年廣島税をなった、三輪は昨年廣島税をなった。 三輪は昨年廣島税をなった。 習消したものである右について遠摩總務應局官三輪昇三の經理上の不仕末については常め來秘書處經理科をして調理上の不仕末については先 理を了しました尙監督の地域せしむることとし既に整塡せしむることとし既に整塡せしむることとし既に整 査中のところ、非行明白

事故防止の

する覺悟である
ついては今後ますます努力

を以つて處分しました、而本日部下監督不行国のかど 不可能

當つてゐるが、取敢へず昨年 州國實業部並ひに馬政局より 保員急行して豫防及ひ治療に 場合でして豫防及ひ治療に の マ亂れ てゐるが、

吉林省公署警務廳 暗闘など斷じて無いと 顧問は語る

効果は擧ら

新京鐵道事務所

は責任のない事故であつた

北黑線辰清

関東應閥、軍部閥等他所は がである、右は警務廳首脳者 に私怨を抱くもの」報復的宣 のであること漸次明かとなり がであること漸次明かとなり がであること漸次明かとなり がである。右は警務廳首脳者 がである。右は警務廳首脳者 東の暗鷗、陽東廳、軍部兩閥の警務廳を中心として日本人官 でを飛ばすものがある様だ さる事乍ら満人官吏に及ぼ す影響も尠くないと思ふ、 ではり後断乎たる處置に出

三頭を窃取

同日迄の罹病馬一千頭、內七極め、廿日鴻纖入電に依るとに於ける炭疽病は其後猖獗を

【大連國通】北黑線辰清附近

馬七百頭斃死

はないか、それに兎角のデーはないか、それに兎角のデーストラーの場面的策動等も決して行はれてゐない、從つて兩閥のよって一点のではないか、それに兎角のデーストラーのではないか、それに兎角のデーストラーの 舎に繋いであつた馬三頭を盗 方荷馬車夫阮成業 (三五) は 家人の不在中を奇貨とし馬小 を入りの下を発貨とし馬小 を入ります。

圓を踏倒し京城に高飛し、同謀し昨年六月十六日前借二千 こと富永キミ子(二五)と共 店平野伊之吉氏方鑿妓金太郎

りふ居住者一同の名を以て 

飢ゆる小供

を 、 農民の生活内容を 家の周圍は雑草の生

本がら何といふ荒凉さだ、滿 共泥柳と草の密生地帶である とれて居ると、「パチャッ」 と水音がした銀鱗がひらめい たかと思ふと、三尺程もある 鮭が跳躍した、二匹、三匹、

三百米ほどなので、

a

【天津二十一日發國通】 遷安 邦人片殺說 遷安縣の

附屬地に匪賊 碑嶺炭坑 新京から警官隊急行

ではれたが、聞きしにまさの様子が手に取るやうにう

心の子に

悲惨!

ソ聯農民の生活狀態

事務長は

川口まで來ると同河、鮭が取れる、ホー

悲劇一幕

露國境を

探

る

(七)

物が欲しいのだらうと察して やつた所、なひ合つて拾つて るたが矢庭に一人が裸になつ るたが矢庭に一人が裸になつ 物が欲し、りでももので、多分を追ひかけて来るので、多分を追ひかけて来るので、多分を追ひかけて来るので、多分を追いた時

太市

には十八になる光子が断然光 三丁目にお目見えの喫茶梅

市局 整 長 大佐 町 田 進 長 本 貞 本 太 太 太 太 貴

メリカルピスでもシャべるのが 大好きだそうです。シュード さへきけば一人で踊つており ます、だれか相手になつてステップでも踏むユーカンマス 異性とベッタリ抱き合つて暑らよいのにネーと、その譯は 彼女は満洲の多が早く訪れた

年齢二十歳前後の實直なる者を求む

員募

食料雜貨 調

電話二〇

五七三三 ₩ 所

知

事務所

藤兼春

建築現場員募集 右至急募集ス

土產物展 1 の 産地別にすると日本内地も 百名の多数に上つた、出品物 は、一年七百名合計一萬三千三 點、朝鮮もの二百點、 奉天が一千三百

選田元彦氏、川上才二氏外一名が新京地方事務所鯉沼叫方 係長に面談を求め縦一尺五寸 横五尺の大封筒の表に新京地 方事務所長荒木章殿と祀し裏 には「寛城子住民一同」と祀し 各地とも好評さに大連で六月二十三、十五日、奉天で六月二十三、十四、十五日、奉天で六月二十三、十四、 非常な人氣を博したが、各地物展覽 會を開催して 各地で物展覽 會を開催して 各地で 日熊本工兵第六大隊に人誉の解人友岡正人君は來る二十八縣人友岡正人君は來る二十八 るので同代表は同様陳情書をと語つてゐた、同區間の管理 內地人男

同日市公學

及ひ國都建設局へ

から附屬地から土砂を運んが線路以北は附屬地外になが線路以北は附屬地外になが原路は出來ないから附屬地から土砂を運ん 枚)を提示して道路改修の促た陳恒書四枚(日文滿文各二 たが右につき鯉沼地方係長は進方を依頼し、十一時辭去し 競見した内地人男の屍体があ 大百七十七キロの地點線路南 六百七十七キロの地點線路南 六百七十八メートルのところで 地震を起點 大百七十八メートルのところで 大百七十八メートルのところで 大百七十八メートルのところで 大百七十八メートルのところで

行倒れ死体發見

地監線路南 身計不明で假埋葬をしてある大連を耙點 体所持品は一銭銅貨一枚のみ時中頃満銭 リヤス猿股を穿いただけの裸

る心算だ 馬ぬす

日満を股

んか

前借踏

三笠町喜代本一

杯か

۸

3

常習犯人遂に

中を去るな連続され、連ば潜伏が

二十二日直方署から、男の自白で女は大い中を逮捕された同署 の中を逮捕された同署

道路改修陳情

新京、寛城子間の

で同様三百圓を踏倒し再ひ女」で同様三百圓を除る中六月逃走し、率天十間房料亭たつのや

九、十二、十六日はそれぞれ 六件づつあつた、少い日でも

間にお

も到底意のまゝにならず寛城 火災防止上又軍事上からして 火災防止上又軍事上からして

| 入船町四丁目某知人方に潜伏 は大連に、

身柄引取に來た

あす

40

より

申込締切り

選手權

人會

し候に付爾今鄭店とは 昭和九年入月二 昭和九年入月二

聯合艦隊

書類代書御用命の程御願申上候や設定記(領事館前)へ事務所を移轉致し候付何卒民刑 新京永樂町三丁目領事館前

興信館代書處

是非お越し下さい!!

その醉心地

世界に誇る

新京に唯一軒の

特

販賣

姓名在社

酒

0

に研護を積みし模範看護婦点 開添婦等十数名同伴内容の擴 最充實を計り現在では四十数 名の多數を擁し何時にても需 地に赴く筈地にかる。 連絡運輸

成川派遣婦會の

日午前九時酸鳩で

本新發屯崇智路一〇八號工際 ・十八圓を紹取された ・十八圓を紹取された ・十八圓を紹取された ・十八圓を出十一日午前 ・中、十八圓を出十一日午前 ・中、十八圓を出十一日午前 ・中、一日午前 第十回内鮮満台連絡運輸會議 は來る十月二十四日から二十六日まで台北で開催される豫 定であるが減鐵々道部では各 旅客手小荷物及ひ貨物の運送 に闘する議題を九月十日までにとり纒めて審議するはず

荒木貞子、山口勇 満田ナンセンス映画

主演よ

來る二十五日創立總會開催す 場所 ダイヤ街扇芳グリル 場所 ダイヤ街扇芳グリル 着面が洋行) 金薫園也當日御持参の事 右へ御問合せ願ひます

岐阜縣人に告ぐ

四日間上映

奉撫バス

品作後助之貞笠衣 ーキートルーオ

新京

創岐

立阜發

起縣

同會

Ħ

吉 章 率天撫順間乗合自動車の始設 本天撫順間乗合自動車の始設 譯と鐵路總局間に紛議を生じふものとして苦情あり、奉天 【奉天國通】鐵路總局經營の 始發場問題 漸く圓滿解决

れてゐたが廿一日朝廟者の間 に妥協なり、總局の主張通りれてるオメー に央定した 话 城多二郎、浪花方瀬田超特別作品

小學軍大

人生人人

人生人人 満田コメデ映書 神田コメデ映書 神田コメデ映書 神田コメデ映書 神田コメデ映書 後 後 後 後 後

四日履歴書携帶本人出頭あれ

東軍

司

令

年齢十六、七歳の日本人男希望者は八月二十

仕

採

用

奇座

電話增設 舊二七二四番

日

本橋通り

すし竹食堂

季秋

(土)日一九 (土)日五廿 八 (日)日六廿 八 (日)日二月 (月)日七廿 月

部樂俱馬賽京新 剛社 人法 番六〇五五、三二三二所務事話電 番七〇五五場馬賽 來たが、こんど純東京ッ子々々サービスの萬全を期し

入して参りました▲ズロ子インテリ女給さん四名を直 ん、ココちゃん、か

は、南京虫位だと思つてるたらこちらにもマッ虫なんですネ 外氣のいゝ虫がゐるんですネ 人の肉まで喰ひものにする虫 がゐるからご用心々々々▲こ ちゃんを忘れちやあいやよッ

祖内地人に限る (但電話其他の間合せお断り) 十名 **全** 至 急 募 集

新京タクシ 話三四五九番

安見卓治 〈三十四〉 行為ありたるに付 八月十七日限り解雇致行為ありたるに付 八月十七日限り解雇致 力 選 逸 製 n



長崎屋洗布所

☆マッサー 一陽堂

❖鍼 東二條通橋南渡る左 ジま灸

付御報次第參上いたします 關治療院 電話五八二九番

5 ま

お 待兼 0



寺院附近豊地亦 く諸種の原文にはアラビヤ文 帯語、聖語に分つべ

影徹に存在し、

ソウエート時日報に、日本人の共

全部御取扱申上げます

五

Ô

、機断だるせ 形でのもの

|一是心然三は、

舊に復さんとしてをり、新京興に力を注いだ結果今や漸く

寺の模様およひ

寮節は毎年各一回奉行す回教 毎週金曜日に奉行し禮祀節開 毎週金曜日に奉行し禮祀節開

の秋で

ある大同元年

内の清潔

の文廟にお

いては建國第一

一八日以来の 主催で執行さ 主催で執行さ

大豆硬化油界に 新紀元

『東京図通』某所入電によれ で、英感議會に於てランシマン商相は左の如き注目すべき

のちかはれた。

版の野宿があつた。イギリスの日 を助の野破――「極電鼠パの平和の である野破――「極電鼠パの平和の

る意岡であると云ふ(完)

金融合作社は屢報の通り本

をより新設の任に活躍すべく で本月中に之等新しい指定さ が本月中に之等新しい指定さ

自動車激増で

統制會社設立

間島方面に新運動

後三省の事務當

局間に行

して陰む方針であり

**新設地近** 

く决定せん

新任理事來月早々より活躍

首都土建界の

有卦時代現出

定より全滿に亘り骨設される 定より全滿に亘り骨設される こととなり、之が新設の仟に 當り庶民金融の第一線に立つ て活躍する合作社理事二十五 名は既に財政部に於て其邊成 を終り、新設地の决定を見る を終り、新設地の决定を見る を終り、新設地の決定を見る を終り、新設地の決定を見る を終り、新設地の決定を見る を終り、新設地は目下財政 中である、新設地は目下財政 中である、新設地は目下財政 中である、新設地は目下財政 中である、新設地は目下財政 中である、新設地は目下財政

満鐵も改修に大童

かけた認況さである工事の主 等の性無別は實に素晴らしい勢 時の性無別は實に素晴らしい勢 時の

行、鐵路總局、國都建設等のが強級、滿洲國需用處、中央銀

車体数は本年四月現在にて乗自動車業は最近著しく設達し

用七五、貨物用五一、計一二六 で、交通機關の統制上基しく で、交通機關の統制上基しく で、交通機關の統制上基しく

諸工事であるが之れに民間の

三民政治

0

影響で

宣傳を目的とするもので心身程所にして經文を說き教義の

文廟の例祭廢る

高、 、躬、叩、京 浴し寺院備付の衣B

新、の四種 ・の四種

「 規し來つた、日本

營口に取引所

階つた。

誘を行ひたる結果、最近漸に各地営業者に對して之が

有力者協議

九千萬間民の上にな

所であった。

をのは、彼れらに、関土として、 ないのは、彼れらに、関土として、

として満洲國貿易界に特殊的 地位を占める營口に於ては最 地位を占める營口に於ては最

が近くした。ことは最

において、窓心に出

強へないことば

関の将米

か既の裏面にも 非

してゐる記法で

のと見られてゐる

英海運助成

商相の聲明

大學的下

神情と、赤

の衣服に着換へ

百余年の歴史を辿りて…

迄も主張する肚だ」と熟意を 見に就ては、余としては 飽く 大臣の監督下に置くと云ふ意 林陸相自身「駐് 路本権を總理

越旨に基いて在滿機構を

とも見るべき意思表示がの處自案に對する代表的

の分野を明確にすべき

れるも

9のと期待されてゐる余を得る事に努力が拂露點の發見に努めて理

合作社の

る時は日本富業者と協調し

の値上問題が傳へられてゐ

鱖所生産に係る銑鐵中左の如く語る

## 平格的折衝に入る 海機 開改 革問

に角軍部では對滿政策をあ 諸問題を押除け忽如注視の的 から本問題の解决に當るこ

第三 満洲宮の獨立を毀損し の簡易化すること の三點を根本原則とし、陸軍改組は避けること 側橋本次官、永田軍務局長、 諸會社個人住宅等を合算す に達し、更らに鐡道、土木の諸ときは其工費は優に数千萬圓

を示してゐる部分に就ては、 を重ね、各省間に意見の隔り を重ね、各省間に意見の隔り 理局長、北島殖 局長、現地長、拓勝側坪上次官、生駒管 桑島東亚局 二時入港のばい 一 一 一 一 一 一 市 報常 孝氏は か

(六) 下雨線の萬全を期し之てが改り、勢ひ同線の重像を余儀なり、勢ひ同線の改修を余儀なり、勢ひ同線の改修を余儀なり、勢ひ同線の政修を余儀なり、

二時入港のばいかる丸で躊連神鞭常孝氏は約一ヶ月に亘る神鞭常孝氏は約一ヶ月に亘る 銑鐵値上否認 **神鞭製鑛理事歸任** 

のと見られてゐる 洲景氣なるも

(五次五事件の内容を知つたのは、けぶが初めてだ!)

てきて、聞きを見じてきた。

飛川郡三のは目、

欧ケ州坂の

腹立しくなった。

者に、原数を妨けら

れることが、

大化の政制・販治の継載では、

北貨間 魔に賄附顧皮 高橋

素人下宿舗ニニ九五番へ貨事務室市内目扱の通り

中間階級たる諸侯を除ぎ、君民一

致の革新が、成し深げられた。

下首 衛期語は附

で 大は契約が出来たと報道さ れてゐるが、どの程度迄信 れてゐるが、どの程度迄信 若し事實として

鰻 スツポ 料

として目下安岡、撫松一帶師二名が搭乗、龍井を根據 近日本橋畔

を限り除かないかぎり、夏政の改

あ

れま

草は、出来いのであつた。

東二條通り橋南渡る左至急御同致します

陽堂

電話五八二九番別治療院

支那農作物 - ス中三コース 放近降雨のため ス中三コ 天候恢 のでは、 では、 のでは、 のでは、

話二三人士



金銭に取って、本数化 の節徹に、ひざまづき、細質なるの節徹に、ひざまづき、細質なるならば、ご動にない、地下 一数となるならば、欧戦は、介脈の大精神に立ち返り、君政

心に返ることこそ、日本要生の数 また、内外所機の選迫、同時の 四日間上映 月廿二日より

荒木貞子、山口勇 荒木貞子、山口勇 主演

品作俊助之直签衣

御申越次第瓷星仕

の世界赤化主義と、わが風流とは、 神やれなかつた。

演主郎二長林

リカの世界第一主義と、アジアの職能しなければならなかつた。

する日は、微然あらればにらぬと

処かれ、早かれ、彼役難能をい

血染の制服 からく音頭 大人 六十銭 が多二郎、発を子・主演 大人 六十銭 が一二十銭

株式會社滿州取引所仲買人 福奉 おましくのから

新京入舟町二丁目九ノ四新京方面御客様のために 電話展 四の六七 5 八に



0 =

(木) 日三廿月刀 **輸出輸送のみに重きを置きては消機本線は石炭、特産等の** は消機本線は石炭、特産等の 對政 法本 金数 概能 設行所 新京日日新聞社 新京日日新聞社 行月月 

(できる)

川路慶太郎 古

科数扬

金軍

東亞。

の天地

に比して此處暫ら 成計畫

を精密に撮影し、 木の種類、立木数、森林面 り二臺の旅客機を借受け撮影 く滿洲航空會社よ 門本を調るものは、その期先づ欧 ― 五、一五の被告らは、現代 意にあらと叫んだ。 問題がぎりなき疑問 政治家は、選良

諸性の頻鏡等

支、行き詰つた。――この病患が主義が、わが関古米の美風を含し

簡易宿泊所

曾 吉野町吉野宮内新京支部 上記 個人教授及技術者

無限に取り入れた物質文で個人、わが國の現在では、西岸から、

て肥階級であった。

大逆形性か起こるまでに、民心

招聘されることになってゐる 鮮金融組合の有能な經驗者が 解していることになってゐる 【上海廿二日發減通】國民政 ば、今年に於ける支那の旱魃 水害等に依る農作物の被害總 上つてゐるがその内譯左の通 類は無慮十億萬元を突破し罹 ら蒙江一帶の撮影に移る事に を飛翔し得たのみで、 の被害

に依る被害地方 御用命八森脇寫眞館へ大經路十五大經路十五 写真 接術ト廉價ラ

四七七〇番吉野町一丁 特別廣告

目

**一般證券實物賣買業** 株式長期延清算取引

みどり茶園

大船町四丁目 田島 フジア東京日日新開助計事楽場託 日本新開助計事楽場託

金野三三四一番(野出)

選撃法に伴ふ施行令其他の改

南に於ける骨拔 | 懇談會、パンフレット其他の内務省では改正 | 市町村更員、教化團体を總動内務省では改正 | 市町村更員、教化團体を總動内務省では改正 | 市町村更員、教化團体を總動

を頼り樂觀 外務の對策

き的修正を補足すべき**嚴重規** 正に就て前議會に於ける骨拔

を御召し

阜軍將兵の活動で

治安確保された北満概况

聖上近衛公

米の現狀御聽取

資本金千二百萬の

滿洲煙草會社出現

十一日創立總會開催の運び

### 増税の可能性 軍需品單價切下げ 收支均衡法につき鋭意考慮 注目さる 明年度豫算編成

政略外交の全貌

(F)

0

北鐵交涉側面

残らず保護する、滿り をソ聯は赤系從栗員を を関する必要はない、 独立の運命に関レ何

**交渉の提議者が自己であるが** 

オランダ政府

日蘭會商前途好轉

が歪當か

第一回

★大連煙合向 本阪神日米為替 ※230 ※2400

龍山町五丁目

電話五三四六番

店

御下命下されば直に多上電話五三四六番へ

砂の相手観たる満洲國や真正

いふ周到な用意から

通」関印政府が實施した日本 ・ は一点を ・ は一。 は一

要は誰しも感ずるところ

各地市場

なきものと見るが如何にそ

往來

第一等目拔場所 新築大小貨室、賄付、場所 永樂町三丁目二番地東二條通角

天昌洋行自轉車店

新築貸部屋

勢力に汲々としてゐ

船舶問題で

又引掛かる

譲渡交渉はソ聯外交の得意と

立場をとるに必要なあらゆる

なし、依つて日本の拠点は 張よりして常分削下の模様 ・日本は諸ツ闘係よりの緊

▲上海倫敦向 電面 1志是片公型 電面 1志是片公型 電面 1志是片公型 型部公型 金面 2 第形公型

疊

目品業營

上表新裏表 吳 敷座疊替替

部との折衝を避け文人とので非武装區域内の諸艦業の

の本の軍権は関る疑は 大年の所割國際危機以 大年の所割國際危機以

質力的脅威はもとよ

東京國通」 藤井蔵相は明年 東京國通」 藤井蔵相は明年 をして本年度以上の困難を豫 想してゐるので、関内の諒解 に努めるは勿論國際政局國内 経済等の動向を洞察し財政均 ので、関内の諒解 に対してゐるが目下の心 では大体 に 於て明 は少な きもの と観年度 増税の 可能性 さる限り特に著しざる限り特に著した。 する限り特に著した。 するで 勢ひ歳 出品の 單價切下 げて このがなく、軍需の外なく、軍需の別費を出來る 限り計上する意向で

**5してゐる、而もその方法と** 弦等について銳意考慮をめぐ て、其他に於ける收支均衡 臨んでゐる

國防費の一部を

農村救濟費へ

新へ、出來るならば國防費の | 曾有の事丈けに蕭價暴落と飯裏が軍部當局に農村の窮狀を | けられ度いと陳情せる中は未収東京國通】政府では農村代 | 一部を削いても農村救済に向東京國通 | 政府では農村代表の| 東情に 當局對策協議

ぎを了し、廿二日午前十一時は、前支那課長に榮轉の喜多大佐は、前支那課長新支那駐屯軍会課長酒井大佐との事務引繼

至急解決せよ

聯軍艦頻りに

一 方法で國民運動を起す事になった、而して離正委員會は勅一 つた、而して離正委員會は勅一 会に依り道府縣毎に地方長官 を會長とし各地方の政治家、 なものと官吏、吏員等委員州名で組織し意見を關係行政官 感に提出し得る事となつてゐる、尚右に要する勅令は改正 施行令と同時に內上省より法 制局へ廻附し明年四月設置の あれる。 黑龍江方面

注目を惹いてゐるが、廿二日 「東近に軍艦の動き頻繁となり 東並に軍艦の動き頻繁となり

喜多大佐引繼 塘沽發赴任 重 図通】アリゾナ州の邦人農民 が現地に急行、粉醾の處置に が現地に急行、粉醾の處置に が現地に急行、粉醾の處置に の權威ロスアンゼルス日本人 會副會長中村氏其他が相次で フエニックスに赴き州政應其 会員民聯盟等と折衝してゐる、 会員民聯盟等と折衝してゐる、 が職土地法違反で邦人農民を 校響する事は大審院の判決に 照し到底出來ぬ相談であるか ら、在留邦人は寧ろ事態を樂 動し、國際問題化させぬとい 其に「北鐵をむざむざ養却譲渡 度を採らんとし、またり聯中とは「北鐵をむざむざ養却譲渡 度を採らんとし、またり聯市と、よい、大学の関連を持ちて、大学の関連を表示した。 関に對する態度は事變直や退 がいて、大学の関連を表示した。 関に対する態度は事變直を退 を全感をかち得たり聯の態度 かした、この同種協定は其後 東の軍備、満洲國に對する政 アチェッコスロバキア、ユーゴ 防的軍備に全勢力を傾けたアチェッコスロバキア、ユーゴ 防的軍備に全勢力を傾けたアチェッコスロバキア、ユーゴ 防的軍備に全勢力を傾けたアチェッコスロバキア、ユーゴ 防的軍備に全勢力を傾けたアメリカとの國交恢復にも成功した、新くて歐洲國境方面に於ける 製的親日振りから轉んじてや安全感をかち得たり聯の態度 いともすれば事毎に攻勢可態 は「北鐵をむざむざ養却譲渡 度を採らんとし、またり聯中と

十六日午後一時頃ソ聯 | 蔣載して兆興鎭を經て黒河方 | ッチ以上より當地東所入電に依 | 大型商船が約五百名の赤兵を | 面に向つ

たか、同日口徑十七

て三江口方面に向つたと

【バタピア二十二日發國通】 二十一日日本代表部は船舶問題を會議に入れる事に反動の訓令を受けたのではないかと觀られる理由あるオないかと観られる理由あるオないかと観られる理由あるオ

▲小澤宜養氏(鐵路總局哈市 副局長)二十二日午後三時 二十五分着哈市から 一十五分着哈市から 一十五分着哈市から 大蔵公望氏(財政部國稅課 長)二十二日午後四時三十 分發內地、 本大蔵公望氏(貴族院蠶員)

ばオランダの面目立たず廿二らしく振運問題を拒否されょ

▲福本順三郎氏(大連税陽長) 二十三日午前九時發大連へ 山田謙吉氏(同文書院教頭) 同上上海へ 金染谷保蔵氏(本社代表、盛 ・ 発育報社長)二十三日午前 七時來京泰天から

由は此邊にあるのではないか日の會見中止となった質の理

一省の意見を斟

近く政府案が

在滿機構改革

の解决を急ぐ

いに期待されてゐる

政友總務打合會

問題を至急側滿解決せよとのナ州知事に對し日本移民排斥ナ州知事に對し日本移民排斥

は成行きを慎重が観し、岡田 が折衝が行はれ、又政府でも が折衝が行はれ、又政府でも では、拓独三省間に屢々事務 點、改革案等に就いて聽取せ次官と夫々會見、各々の主見 

紙 幣 幣

11年、日、九、日、八五、三六

で開かれ、農村の實狀に照して開かれ、農村の實狀に照して開かれ、農村の實狀に照しています。

海外經濟

至同八月十八日

中銀週報

八月十二日

召集决定 臨時議會

本埼玉縣教育團十名 二十三 日午後零時三十分發青林へ二十四日午前九時發奉天へ 十四日午前九時發奉天へ 一十四日午前九時發奉天へ 一十四日午前九時發奉天へ 一十四日午前七時來京、太陽本 テル投宿豫定 一十七日午前七時來京、太陽本 テル投宿豫定 一十七日午前 日本於道教育曾五名 二十七 日本於道教育曾五名 二十七 日本於道教育曾五名 二十七 日本於道教育曾五名 二十七 日本於道教官

期報報

五克芝

御用命は!!

電話

五六〇九番

信用と責任を重んずる

西山萬年筆專

門店

ダイヤ街(ダイヤビル)

頃にサービスさして載く 破損故障の修理は僅な修理費で完全に

販賣修理

修 理 売

「専門の店」

あれこれとインチキ商品に

はされ

専門店が生れました

二日午後外務省局長等を官邸

排日を植た

條約廢棄通告

豫備會商前に决行

蔣の軍

宇官訓

つける

海軍問題懇談會外相へ央議文

【東京國通】華府條約廢棄問題で廿日夜會合した海軍問題 有志震談會代表等は廿一日廣 田外相を訪問、左の決議文を 手変した 一、華府條約の廢棄通告を必 ずロンドン豫備會商前に決 四一、自主的軍備に依つて最も 経済的な関防の安全を速か に確立すべし に確立すべし に確立すべし に確立すべし に確立すべる各國軍能の最大 限度を確保し現存條約の如き やを確保し現存條約の如き

1 左の如きものであると仄聞するの如きものであると仄聞する

練和間中に剛長等が修得せる たの如き試験問題を提出し訓 をので最後に訓練期の末期に

反補抗日意識の再確認を期し

一、支収

支那は如何なる國家制度

國民黨政策の愚劣なる點

復の方法等が試験問題

「南京廿二日酸國通」 新介石 氏は西南を除く全國四千五百 氏は西南を除く全國四千五百 お廬山に於て重要訓練を行ふ 計畫の下に既に本月初旬其第 一期訓練を終つた、其訓練の

軍駐屯に伴ふ商業方面に從事 して居る、又鮮人に於ては比 較的早くより進出し農耕主と して水田方面に從事せるも事 道に苦んだ、現在約二千名の 人七十名内外に過ぎながつたが、現在は光南約八百、通遼が、現在は光南約八百、通遼 (五) 各部隊駐屯北 東端に至る道筋を一定して 交通遮断を行ひ、關係者以 外の者は苦力に至る迄一切 外の者は苦力に至る迄一切 が近づけしめず路傍は「掃匪 抗日」其他の排日ピラを掲 げ、排日常識を植えつけて

一、軍官の國家に對する責任

掃匪抗日何れを先にすべ

る事となつてる

展京図通】貴族院議長近 大門遊ばされたので同公は 下間遊ばされたので同公は 下間遊ばされたので同公は 下間遊ばされたので同公は 下間遊ばされたので同公は

は民中漢民族の一部商業に從事せる者以外は大部分農業に從事し中には蒙古人と難婚せる者助、事變前後迄は漢、蒙兩族の軋轢相當甚だしきものあつたが、建國後は政府ののあつたが、建國後は政府のようとである。

を以て、特来地勢上有望なり と観られるに至つた、蟾楡縣 を呈し、年産二十八萬二千斤 を呈し、年産二十八萬二千斤 を呈し、年産二十八萬二千斤 を上、年産二十八萬二千斤

後引續き盧山に一般の通り本月初 對日秘策を授けた? 在つて蔣介石氏と協議を

まづ以て肚だけは確かに

情、よくよく<u>と見る</u> 一部を農村へと代表

本芸調に團結報関を力配した

は、下至(下魁)と稱して居る は下至(下魁)と稱して居る が齊々哈爾屯の部落名を観江龍城又 たものである、下至は蒙古語 たものである、下至は蒙古語 と云ふ意である、此の地に大力者 と云ふ意である、此の地に大力者 と云ふ意である、此の地に大力者 を云ふ意である、此の地に大力者 を云ふ意である、此の地に大力者 を云ふ意である、此の地に大力者 を云ふ意である、此の地に大力者 を云ふ意である、此の地に大力者 を云ふ意である、此の地に大力者 を云ふ意である、此の地に大力者 を一大力者と云はれてある 大大で黒轍江の右岸齊々哈爾中に 大大で黒龍江将軍は千六百九 た大で黒木曜を設け、黒 龍江省を統治し其後千九百九

99

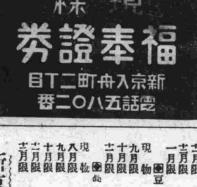
の麾下にある旨を軍官等の麾下にある旨を軍官等 事によつて認識を新にする。親日韓南を云々せるものは 石の眞意の那邊にあるかを物

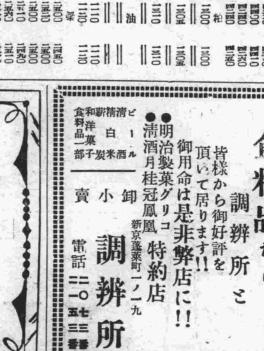
日を利用强調せることは蔣介の心理把握にある事は明かでの心理把握にある事は明かで 眞目的が大總統就任工作の第素より蔣介石の國長等訓練の 「フローレンス廿一日 後國通 ア復辞問題は當分沙汰止みと ア復辞問題は當分沙汰止みと なつた その日

省いよいよ本腰になる

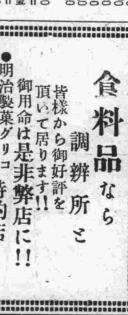
現物 11次第1元3 ▲上海日本向 11次第 11次第 11次第 11次第

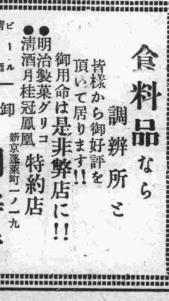
際所定方針に從い政府に對し際所定方針に從い政府に對し際所定方針に從い政府に對しては華府條約を廢棄するを根本方針とし、速かに政務調査を促進すること、在滿機關の整調は日構南國の利害衝突を生ずる線な事 决定して午後四時散會し 査を促進すること等の誘項を改組案を樹立する機政務制 墺國復辟問題 沙汰止み 番二〇八五話画

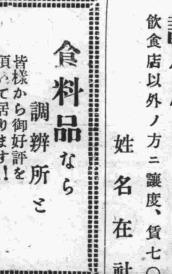


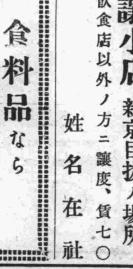


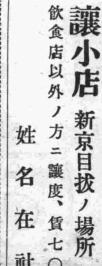












●銀塊及(株) 11片「公分」

・ 対象塊塊 11片「公分」

・ 対象塊塊 11片「公分」

・ 対象塊塊 21片「公分」

・ 対象塊塊 21片「公分」

・ 対象塊塊 21片「公分」

・ 対象塊塊 21片「公分」

・ 対象機塊 21片「公分」

・ 対象機塊 21片「公分」

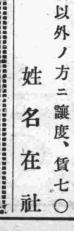
・ 対象機塊 21片「公分」

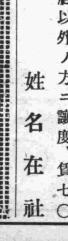
・ 対象機関 21片(公分)

・ 対象機関 21片(のの)

・ 対象性関係 21

▲大連特産





### 復脫線 國 **追ちに匪賊から**

應戰彼我の重輕傷者多數 の見込であるが、詳細は不明では同列車を目がけ一 齊射撃を開始し、満洲國軍又これに車四輛轟然たる音響と、もに又復脫線顚覆するや、匪賊 ある、 近に潜伏中の匪賊のため線路を破壞され、機關車外貨客 なほ急報により 四、密蜂間を進行中に廿三日午前七時十 分頃附國通至急報)滿洲國軍用列車九○一號は北鐵東 一面坡より救援列車が現 場に急行 

日本人二名は事件に無關係とわかり二十二日釋放したが、奉天署に於ける檢擧ば益々進展する模様で大連署では奉天展する模様で大連署では奉天

淨

土宗長春寺

電報を本社學務課へ打電する東校長を支持してゐる」旨の

こととなった

東商業校長

子安地藏盆

晝は子供角力

0

夜は活動を無料公開

# 黑幕ら 捕はる

動を開始した

長排斥運動

事所長から四平省解 に賃性ペストが發生 に賃性ペストが發生

第一期防疫として鐵路防疫、 野策を練るに至つた 第一期防疫として鐵路防疫、 野策を練るに至つた 建 長室に關東軍、滿鐵病院、 犀 宣傳文の配布、殺鼠卿の即布 生 長室に關東軍、滿鐵病院、 犀 宣傳文の配布、殺鼠卿の即布 と 長室に関東軍、滿鐵病院、 犀 宣傳文の配布、殺鼠卿の即布 と 長室に関東軍、滿鐵病院、 犀 宣傳文の配布、殺鼠卿の即布 と 長室に関東軍、滿鐵病院、 四 電 などでいよ々々本格的防疫 第一期防疫として鐵路防疫、 陽離所、 疫地の毛

職員會は校長支持に決定

叉も商業校の騒ぎ

制限取扱ひ

ちにこれが

上旅客小荷物及ひ貨 が防疫の方法を講ず で直

相互招聘提議

事務所

日本体協、

比島体協と交渉

拳闘兩チー

高某官憲は路警處と相呼應し 事科員ウオーク他十四名を逮捕し、北鑁の牙城に一大セン セーションを捲起してゐる、 セーションを搭起してゐる、

引續き大活動開始

四百二號地の識洲修養團の修養會館も落成したので従来市 内羽衣町一丁目六番地三宅精 一氏宅に事務所をおいてゐた 満洲修養圏新京支部は廿二日 一時間會館に引越し、二十三 日から同所で執務を開始した

性ペスト患者

鄭家屯に發生

新京で第二回防疫會議開く

新修養曾館

頭、有質學溶課長のには二十三日午前七 はこれを受理、後任は目下のには二十三日午前七 はこれを受理、後任は目下の過)新京商業學校々 三野に酵表を提出、有質課長

て列車顚覆の首魁逮捕に大活

加三名を虐殺 拉賓線小城子奥で

を興へてぬる を興へてぬる を興へてぬる

國幣偽造事 大連署搜查打

、 漸く事件 されてゐる事が判明、一味は、 大連署で追究の結果、日本よの主せる三名 大連署で追究の結果、日本よい、 其斃辛ふ 【大連國通】國幣僞造事件は

慶など関係各方面に送附され で、樹文が満鐵學務課、関東 で、「大学学校一部職員らによ で、「大学学校一部職員らによ で、「大学学校一部職員らによ 一神聖なる學園に面白からざる

きべるなか解

右 なほ同校は二十二日始業式二 | 遂げた結果、『教職員一同はの ます | 教職員一同は直に鳩首協議を | だのではないかと思つてゐ | 東校長辭任の報に接した同校 たくを な仕末です、詳しいことは な仕末です、詳しいことは な仕末です、詳しいことは から第二學期授業を開 か全部登校して眞面目に授業 が全部登校して眞面目に授業

本社へ打電

(務で乗車する軍警がひの) 成の以内で乗車する軍警

建築現場員募集

右至急募集ス

性名在社

(する場合は第一號 及ひ貨物(軍需品

奉天對新京の

検診を實施すると共に

えトはますますその 過渡、農安各方面に

五.

経年度四百州億留に比すれば 整年度四百州億留に比すれば 豊が豫定の九割三分に達した から、第二次計量も必ず實現 すると豪語してゐる然しかゝ る産業計量の成功が、假にあ

とは、民家の構造によつても 想像出來る、更にその事實を 私が躊路同船したソ聯股出者 三家族十六名(ハルビン白露 インテリ、イヴアン、ノヴイ リウキッチが裏書した、即ち イヴアンは一九一一年から 三一年までスロボジースタ

ソ聯の事を思へば

國

か

る

門でもやる<br />
・

拳を握つて喜ぶ脱走者の話

一未だ考へては民ないが、

のす開く

市場で開催の減離沿級都市野間に亘つて大連沸機俱樂部野間に亘つて大連沸機俱樂部野 出場者决定

となつて脱走の機をうかとつて居た、しばらくしてイヴァー で居た、しばらくしてイヴァー が、マルコフスキーの二人は病氣と稱して工場を休み、 徹 や魚つりをして飢をしのぎつ となつて脱走の機をうかとつ

五、第二號 第一、第二號の制

奉天對新京の陸土章技會は二 を立て、第一回職は僅か一點 で本會は一般ファンから非 で本會は一般ファンから非 で本會は一般ファンから非 陸上競技

龍井耿式野球 (龍井殿通) 静井軟式野球大 (龍井殿通) 静井軟式野球大 をなつた、、参加チームは現となった、、参加チームは現となった、、参加チームは現となった。 
一本面ところ九ケ喇体で各関体で各関体で各関体で各関体で各関体で各関体で各関体で各関体で各関体でのところ九ケットに経験者を続ける事 在日定時總會を開き年七分配(東京國通)住友銀行は九月

話

(又は貸付にてもよし)

秋競馬 100

から 愈よ二十五日

新京高女で

ける北鐵東部線

戦 飛龍、轟、滿花、 で、矢風、大風、一 で、矢風、大風、一

金勇

セ

進出

第二回の試み

事務室(風呂、炊事場附 東 亞 水東 亞 水東 亞 水東 亞 水 東 亞 水 東 亞 水 東 亞 水 東 亞 水 電話 四 九

四九 ニニテ

九七

JU 話

瓦斯及)

京商の

筆の

はいよいよ本廿三日午後七時 より新京高女に於て滿鏡主催 の下に講演を行ふことゝなつ た

再収調を受く

【東京國通】三土前鐵相は二十二日午後三時豫書/考人と して東京地方裁判所諸角豫書 判事より一時間余に亘り取調

取扱商品は日本一 萬年譲の病院が開 盜

▲東一條通五六番地近離出 全東一條通五六番地近離北上 全東三條通二五新本旅館社上 全家取された 東三條通二五新本旅館社上 を窃取された 全京上條通二五新本旅館社上 一日午後二時三十 一日午後二時三十 一日午後十時ごろ 日宅四疊半の間で現金二十 一日午後十時ごろ 日宅四疊半の間で現金二十 一日午後十時ごろ 日宅四疊半の間で現金二十 一郎 上内土木請負業白川仁一郎 上内土木請負素白川仁一郎 上内土木計負業白川仁一郎

西葉県校では来る三十日四、 五半年生徒の第二回實理射撃 を新京射撃場で撃行する、今 国の射撃演習は距離二百米伏 あるが各標的に名譽標的を装 であるが各標的に名譽標的を装 であるが各標的に名譽標的を装 日には試験射撃を行ふ 陸軍機七十機

日本機通り お知らど 新五四八五米

すり

り竹食堂

似擊演習

(立川國通) 海軍飛行學校の計七十機は來月四日から六日迄實職機は來月四日から六日迄實職

三土前鐵相

辭任に決定す

けふ學務課に出頭

希望者は午前九時より 自動車運轉手 (但電話其他の問合せお斷り) 但内地人に限る動車運轉手 十名 至急募集

止午迄に來人來談に限る

度者弊店儀從來 薬共順所機談販明人として、顧客各位に對し些の過失なく營業を繼續日々堅實に發展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致居候は偏に皆樣方の御後援御展致用短期現物の清算取引並に最高定義。日滿經濟機構のバロメーターたると金融事情たると世界的材料たると金融事情たると世界的材料たると金融事情たるとの見解を調定を得る取引振の自信を得申候間何卒本店同樣御利用御勝算あら間何卒本店同樣御利用御勝算あら

新京 話船 四五九九

番目

全輸二十歳前後の質直なる者を求む 意 薬 薬 町 一 電話 -0 五七 ≝所

に御座候 先は略儀乍ら紙上に御挨拶迄如斯

解 雇 と (三十四) たまでは、 大角 を (三十四) 長崎屋洗布所

新規取引御

希望の方に

書類代書御用命の程御顧申上候 與信館代書處 新京永樂町三丁目領事館前 通 

株式會社 奉天取引所錢鈔取引員

電話三〇七〇番

兼

新京支

振替大連四三九三番 長 野 町 四 丁 目

天加茂町七番地

新京八島通三十二

満洲モー

京

支 九〇八

話三

事務員募集

振奪本天二 五 三 八 番 「大きになって、市専用気器を では、カースの、カースを ・ では、カースのでは、カースを ・ では、カースを ・ では、カーな ・ では、カースを ・ では、カーな ・ では、カーな ・ では、カーな ・ では、カーな ・ では、もな ・ では、りな ・ では、もな ・ では、もな ・ では、もな ・ でもな ・ でも ・ でもな ・ でも ・ でも

鞍山元町貳丁目二十四 鐵嶺松島町十番地 長電話三七八 局前

所張出

和通り **最輕話七八話** 

(8

「あア、即き受けたから安心しひします」

この時、わめくやうな老婆の際この時、わめくやうな老婆の際

るぜったがね

うあそこだっおいらはこうで別れ

できて來た。お出さんの家はも

福鲜D 船絡連

温洲女

施設瓦建

行計斯金

築

物

修太は、あはて」立ちあがりな

んとうのことだものの、気生の方へ

雄基 清津

一日前八田の大明

品庫在製

建各各土

金蝶番、黄

其ル

類他類輪

製品

Œ

種木

車

•製作=

を切らして下つて行くのは、他太

「個太さん、ちょつと待つて国

綿のお手で

時

11

その夜も更けて

とお出であつた。

明日ヨリ連載

新綿も各種豐富に取揃へてあ ▼受渡貫目は正し

村

生さん、今夜だぜ」

「うるせえ婆アだな、ちゃ

曜

「他太さん、ありがた

お脚

まもなく

晋無沿邊に來てるた

されから……」

支

店

(往復切符は復路運貨)連、門司、神戸間乗船が

日本

特專

世界無比の

荣養

生ニンニク

の大教

ヤベンターリストピューロ 瀬鏡沿線主要 各縁及各地ジ

符發賣所

さつがすつかり分つたよる際に関

聞だってお婆アが云ってたよう こへ押し込んだのも、お条の指

にまた、お気もやんが可見さられから、おいら急に助けてやらうないら急に助けてやらうないら急に助けてやらうないのできょう。 時家のお条も分町とぐる されないんだよっだから、間に出 好してゐるから、誰れにも相手は好っなんだ。おいらは、こうなな 「おいら、一人で館に出るのが

十二月

**照根\_** とだったから、お里には信じら 何太の云ふことが、 でほんとうにさうだったら、あ

収だよ。おいらには、今度のいき ことが、まんざら聞でもなささう れなかった。しかく他太の云ふ 「金明って以て大帝生より劣る しまで逃げて死てるるんだからい

あたしの家にみてくれませんかっ 「個太さん。蛇になるのた 数はれた嬉しい涙が、はらはら

詰りたる事も

れど屈せざれば順調となる 丁と癸と丑が吉

●二系の人 向上發展の大吉 甲と丙と申が吉 甲と丙と申が吉 迄の勇氣と覺悟を保ての人 思慮定らば貫徹 栄ゆる兆あり盤は盆々堅固

生のごはにおもひます」

日岐武志

除り突飛な

まアよかつたなア、金助の炊、へ

いらなんだか差づかしいや

そんなように云はれると、

**情銀平他二天在** 

F

八片

景。

ペント及塗料

鐵

べい板が床板

電 機

テ

1

機械

土 工用 門具

小野田セメント

防

衛 生陶器 水材

料

対京日本橋通り七八番地

大信洋行新京

支店

▲印 廣 景 寄 港 ×印二三等船客設備船 門司"神戶(大阪行) EILLINGTT

記

制京日本橋通七二

入入入入入入 月月月月日日 卅三廿廿廿廿 一十入七六五 日日日日日



▶目科業營◆

新しく出來ましたタパコで御座いあたら でき

本い

かべ

吟味された葉、巻きの具合煙のやぎんみはまであかけむり

わらかさ等、恐らく最近タバコ界

の傑作かと存します

電話 (二五二三) 番

-----

製機上表新 械 造床敷替疊

新京東二條通り 新京東二條通り 商店

同 上 下 揃

夏の旣製洋服類 眼 替へズボン

太院

辯護士脈六等引地寅治郎

0

事

(前花開)三ノ三町祝京新

內店質屋浦

❖❖❖❖❖ 運河<sup>黑赤</sup>寒栗碎 搬 煉水 部砂瓦石石石

茂

富士町二丁目廿六番地 電話四 九三二番

山切タベ



・多少に不拘乞御用命 低廉之讯 確 電話三二 修製容類 魮 速素 窂 理作接作 一十本入 市中有名タパコ店に有り (十個人)金 金十二錢

新京日日新聞社 水越内 本 本 本 本 多 身 忠 吉川商會 中村

で左程重視すべき事柄では一変の成行上こゝ迄來たもの

自動車の横暴

外務人事異動 十三日〉 安吉 東其物ではない、所謂自動車 車其物ではない、所謂自動車 車其物ではない、所謂自動車 前當欄に掲載されて居た通り 除雨の時など吾れ吾れ素人が 見ても規定速度の十六哩以上 のスピードで走り一間位離れ

協定案文起草完了

水路會議

・聯の出様注目

讀店の階 るのに気付は無い、ちは無い、ち 小さな事で 耐へない罵

を無やみに不快な 運ひざまに聞くに よつと自動車の來 るが其事以外に

の何々だとか成猛高になつ。 へる等目語同断の振

反をして置きながら俺の主人 実の一例ではないかと思ふ自 家用運轉手が明らかに規則添自 不足運轉手が相當居ると聞くを見聞して居る、新泉に來て 反である、新京署に於て之等い有様である、規則違反は違

て居る岡などあまり見よくな言はれ巡査や巡補が尻込をし 不良運轉手は徹底的に取締る

上海公使崩一等書記官 殿り上げて居ちのを見て 達夫

命調査部第一課長 任外務書記官 日本の表表

調査部第一課長

命廣東在勸 令上海在動 令上海在動

中四十二月人年九和旧

文の起草を了したので、滿ソ兩國政府が之を承諾すれば茲に協定は 正式に成(東京國通) 黑河に於て行はれて ゐた滿ソ水路會議は去る十九日漸く協定案

立する事となるが右協定内容は左の如くである

する目的を以てソ聯ア ムー

黑龍江、

ウスリー

スンガチヤ河、

ル水運局と満洲國ハ

ルピ

||例國ハルビン航政局との間に航路||興凱湖||等に於ける航行狀 態を改善

## 日満の發表で

漸く眞相判明

アリゾ

ナ州知事

嚴重排日を

取締る

ピスタスス 明新側は 通 領事更迭

は、今回本國歸還を命ぜられ 邦大連駐在領事ミハイロフ氏

北鐵交渉の發表に

B

(ワシントン廿二日表験の根據地を大西洋岸から一家に太平洋岸に移動するに決策した平洋岸がら一場に太平洋岸に移動するに決定し海軍長官代理へシリー、

及ぼす事は必然の事と觀られ洋上の海軍作職に貧大影響を

岸に碇泊する事となり、太平り哨戒艦隊は無期限に太平洋

日本海軍の見解

H

27

4平洋に移動

今後無期限太平洋に碇泊

米海軍長官代理發表

哨戒艦隊根據地を

基くものでない事を頷りに 來年哨戒艦隊は太平洋上に調し次の如く述べた

る事とす

満ソ兩國間に共同作用を必要とする場合は共同技術委員 會を以 て之に當

諸般の事項につき協議の上决定する事

六分配据置に决定

大西洋哨戒艦隊の根據地を大西洋哨戒艦隊の根據地を大西洋哨戒艦隊の根據地を大大西洋哨戒艦隊の根據地を大大西洋中が6一領に太平洋岸に大要左の如くみてある。 電文が簡單で不明瞭だが軍を要更したに過ぎないもので特別の意味はあるまいが従来一時的に太平洋に移動してゐた大西洋艦隊を相當長 量いてなかつたが、果して今 時の宣傳は當にならぬと、信を を缺ぎ一般に例によつてタス の宣傳は當にならぬと、信を をいき一般に例によつてタス

重視の

の不信、背信、外交的機謀衛つたのでソ聯國民でさへソ聯回日滿常局の眞相競表により

廿八日總會を開催

銀上半期

配富六、据置と决定してゐる中央銀行株主總會は來る二十八日閉催されるが上半期の

1

へ西洋の哨戒艦隊根據地移動 事を釋明、之に努めてゐるが《ワシントン廿二日發國通》 官代理は何等戰術的意圖無き

根據地移轉が何等職術的意圖 「ワシントン廿二日發滅通」 「サエルト氏は更に哨戒艦隊の がエルト氏は更に哨戒艦隊の

財界の

重大影響あり

に

に非ず

米海軍長官

戰術的意圖

辯解に努む 大田大使外務人民次長訪問

った

福成 で 阻害したした 職成 で 阻害したした 職が價格並に交渉經過に に職が價格並に交渉經過に 補成いを阻害しないため特北鐵譲渡交渉に就ては其圓 满 洲 國解

吉林省公署理事官 整天省公署理事官 趙 鵬 令 章次 第

すから三日間

制度量衡三

國の爲、人の爲、我の爲使へ

満洲國権度局の計畫

基金に

松花江の防水

自由計量所を設け度量衡デー、自由計量所、関務院裏に

るため満洲駐在外 的更迭を行ふ計畫 右大田大使の抗議に對しスト 日本政府に於てもユレニエ 日本政府に於てもユレニエ マニアコア|次長は たのは國際信義と相容れぬ其他交渉經過一切を發表し 日タス涌信社を通じて價格を求めることなく八月十一 視し事前に帝國政府の諒解 立して居たにも拘らずソヴェッ大使間に紳士協定が成 措置と解せざるを得ない ト政府が右協定を無 動につき酸重に取締りを加へ内に於ける日本人農民排斥運内に於ける日本人農民排斥運

交官の全面

本関歸還は

就いて會談を遂げることとな と述べ、タス通信の發表に就 た田大使は近日中更にストマ ニアコフ次長を訪問、時局に かったではないか

アリゾナ州政際は在留日本次の如く通告して來た 下係争の中心となつてゐる 人に對する暴行は假借なる

夜診應需 事其他館員の宿舍の 目下當っに公使以下領事副領

ものと思はるで合法的解决が與へられる

銅貨下落防止に

慣みた

い、が何はとまれ神

大恐慌を楽してゐるが、最近 大部分を占める銅貨生活者は 大部分を占める銅貨生活者は 大部分を占める銅貨生活者は は右銅貨搬入並に食料品の買傾向があるので二十二日當局 て益々これに油を注ぎかける 更に食料品の買占、市外銅貨 搬入禁止令

あり到底不可能と決したのでの引揚げは現場の水深百十米 島沖で六月二十九日僚艦電の た驅逐艦梁雪へ一七〇〇トン 逐に廢棄する事に決し八月 でめ艦体を雨斷さ 通 もかくこれを上司に告げ表面輪喧嘩に止めて置くなれば重 事を忘れてはいけない、いいの生徒がついてゐると ▼教育者の周圍には どは結果からい

総裁は防水基金として金一萬次減水しつ」あるか、日本側を突破してゐるが、今回林總鐵 五日附で永久に帝國の艦籍か 萬圓寄附 ある▼教師の本分を忘れて、も拘束されねばならないので で教師は尊き存在であると、人の一言一動は直ちに全生徒に のために、飽くまでかゝるく、殊に吾等の名譽ある京 良曜の根絶をはかりた

品切の際は左記へ御照會を乞ふ最寄の特約店へ

一等 任李天省公署總務應長叙簡任 任李天省公署總務應長叙簡任一等 人米 成夫 一等 三浦 森郎 任財政部總務司長 任民政部總務司長叙 **陸救額任一等(各通** 野直衛任一等 満洲煙草株式會社の出現は チ、ハルカ月一日より三 都市に左の豫定を以て度量 中を練り廻り度量衡に割すに二十五日は自動車を以て 度量衡デーの後更に次の 単を撒布し市民の注意を 概要」と題する講演が

り三日間 口

三日間

任國事院總務廳主計處長敍簡 松田 令輔 任國務院總務應人事處長敍簡 皆川 豐台 投養を行ふるのである、直が煙草股份有限公司に對し事ら関法人總資本五百萬圓の滿洲 京吉林大路に决定され、今年工場用地一萬二千坪は旣に新 日本政府に設立登記せられた 目を惹いてゐるが、同會社は草菜界のみならず各方面の注 ので同時に設立される満洲 工事を終り來秋完成

職するにしかずとい

之を機に満州國への煙草集栽 の出現に滿り滿洲に於ける煙 ンに豫定されて見る、同會社 製品が市場に出るのは來年末 を全滅

佐蘭無歐は二十一日湖南營、 ばん居する約四百の匪團を急依關の兩地から小八濤附近に 方の損害なし 等を包閣攻撃し全滅 與へ潰走せしめたが我 運動が起つてゐ 東商業校長の排斥

米公使館

非については吾人は 依蘭部隊 約四百の匪賊團 校長が就任當時から その眞相はとも ら暗流の 聞くところに

退學して滿洲國政府機關に は満州國官民の感情や、將來題で相當なやんで居るが彼等 有するもの」如く彼等の去 腰を上げやうとせず、歸校問 期が近附きつつあるのに一 ピンに設置决定 の社會問題として識 十月二十七日よ 十月十三日より

間に注目されて居る

會會議

特重組合長、新真 即氏は三重縣の人、東亜同新京商工會議所會頭石崎廣 生で現在新京

大

平凡に非ず 新京財界の重要人 石崎廣 つてゐない、氏は胃ふ、自がらも更に失敗の經驗をもあれだけの取引をしてゐな

生等

先づ賣れ

一つてるない、氏は智ふ、自分は實にとりどころのない 平凡な人間であるから大きいことも出来なければ從つ て失敗もないのであると、 これは氏の謙そんの言葉に はちがひないのであるが考 はちがひないのであるが考 はちがひないのであるが考 はもがひないのであるが考 はもがひないのであるが考 はもがひないのであるが考 はもがひないのであるが考

ないため、この點會頭として

運動方面でゴルフ、庭球、歌画人者である、趣味としては最 の人者である、趣味としては最 ないやうである ないやうである

海外飛躍の先驅者

分新 館 長京

大持論で而も氏は海外の駐在員はたど單なる調査、情報の報告にとでまらず出店の意義を 問かにして『豐る』といふことに全力を注がねばならぬ理 はなんとあらうとこれが結 ではないかと昭和七日ではないかと昭和七日に全力を注がねばならぬ理 實吉公望 設け、奉天に出張所その他 和七年の七月新京に分館を 和七年の七月新京に分館を

腹く筋人にその存在を知ら 出に努めた結果、今日では 上に努めた結果、今日では

業績をあげてゐる 氏は鹿兒鳥縣の人で同文書院を卒業後日本内地の商工 業の實情を知るため大阪府 業の實情を知るため大阪府 業の實情を知るため大阪府 着者を設得して昭和六年南洋 に駐在し約一ヶ年の間に數 てゆけばよいまでに漕ぎついやうにうまく舵さへとつ

関権度局に於ては各官廳後援の認識を見める爲今回滿洲衆の認識を見める爲今回滿洲 同じらして開発 登場の佳節と日を

四

十五日より三日

重衡器の展示 定の長さのも

Ę. 1を納して市民の身長体重 等を新制度に依り計量し 政 等を新制度に依り計量し 政 等を新制度に依り計量し 政 等を新制度に依り計量し 政

一等 十圓 (一人) 三等 一圓 (一人) 三等 一圓 (一人) 四等 新削尺 (四十人) 四等 新削尺 (四十人) 四等 新削尺 (四十人) 四等 新削尺 (四十人)

大、ラデオ放送 二十五日、 清海商舎裏廟にて無料公開 二十五日、

歸省支那留學生 去就に迷ふ

後前 最高 二十五度四十二分分 十二分分

西の風晴一時曇

圓を寄附して來た

札幌買賣所 京城販賣所 大連贩賣所 札幌市南二條西十三丁口 大連市山縣通リー六

名古屈販賣所 九州 赞紫所 大阪祭業所

名古屋市中區新柳町六丁目ニノー 程岡市博多片土居町四一 大阪市北區中ノ島ニノー

東京市丸ノ內二丁目十二番地

京城府黄金町二ノ一九五

十月二日より三

三日間

日間

三日間 林 九月二十日より 九月十一日より

(=)

### 反對派の暗躍 解任を拒んだ末永教師 事勿れ事の 3

排斥の火の手が擧げられたものと傳へられてゐる、宋永氏は本學年度四月以降も俸給を受けてゐたが 式柔道教師として現在の藤原豐三郎氏を採用したため末永氏など一部反校長派の職員らによって校長 師屬託末永賢大氏を解任せしめんとしたが、末永氏の强力な反對のため正式に解任せず、而も正 上大満鐵當局の人事行政として遺憾の断があつたと一般からみられてゐる 今回の東校長排斥運動の導火線は今春全校生徒のストライキ事件解決に際して四数論を轉校せしめたほか、 俸給を出せぬといはれ憤慨した事質もあり、可なり兩者の間に暗流があったものらし

長絕對支持 關係方面へ 夫々急電

世りとの報に接した、赤塚教明以下教職員一同は直に在京 間窓生を糾合、善後策を講じた結果、校長絕對支持の態度 をもつて望むこととなり蒲鐵 をもつて望むこととなり蒲鐵 をもつて望むこととなり蒲鐵 とをせず圓沸に同問題を解 平地に波瀾を起すやうなこ 同窓生としては本問題に對

聞

辭表提出迄の經緯

本社主催、

排球選手權

爭覇戰

當局者並に同窓會代表を訪へ以て東校長支持と決し、其の以て東校長支持と決し、其の以て東校長宛に打

勝の意氣烈々

(補)雖場、森 (補)雖場、森 (補)雖場、森 (補)數、場、衛澤 (補)數、場、衛澤 (補)數、場、衛澤 (補)數、場、橋澤 (補)數、場、橋澤 (補)數、場、橋澤 (補)數、場、橋澤

(補) 那須、後藤 野、須納瀬 野、須納瀬

△國務院主計處

アインプレー續出概念を喜こ ではす鮮銀常に押され気味なる 動、味方共に汗を握らしたる 動、味方共に汗を握らしたる も満銀投手の好投野手の落付きに如何とも出來ず遂に凡打に終はり惜敗す

高森、

星野

谷軍 陣容全へ

によつて初めて知り、吃驚 然知らない事で大連の新聞

三十三億本

もあと僅かに二日、いよ々々 第二回全新京排球選手權大會

から地方事務所々長室で主將するため今二十四日午後三時は當日の組合せその他を决定

○保安區

皇帝盃爭覇

帝盃爭關

△満電ク

ラブ

銀行團リーグ戦

米水上選手

京銀勝つ

對正金野球

、李、田中、 辻

△新聲會

岸本、野中、竹內、小野、

出場チ

△地方事務所▲組

果然、人氣を呼ぶ

けふ主將會議で組合せ决定

東氏は語る

B

事はありませんが、兩三回れ私としては何等やましい 部下及生徒に問題を起さ

安東の水源

の百キロ

計畵

即放送開

新たに聽取料一圓を徵收

立、十六日は新京神社の日もなかつたきりで、別に祭いあつたきりで、別に祭

日 四日は秋季皇鑁祭日曜と神嘗 ちに九日はお体みで断然平月 ちに九日はお体みで断然平月 ちに九日はお体みで断然平月

任着任

門田衛生主

族同伴で養任した 族同伴で養任した

大日本國防婦人會新京支部第二四創立委員會は廿三日午後に、古澤夫人を始め三十五名の出席、各委員から同會入會申込書(九百六十三票)及會會風分在どを協議し左記十三個分會の決定を見て小林少佐、四月友太郎は、古澤夫人を始め三十五名の出席、各委員から同會入會自己などを協議し左記十三十五名の計算を表した。

かあつたきりで、別に祭は僅か四日の休み、(日

よろこ

上に達し無担。 た々々當局の1 整業を續けてる を呼出し、加 とので同係で1

一部では更に十五日以 では更に十五日以 では更に十五日以 では更に十五日以 ではであるものを調

國防婦人

八會

各分會の區域

その他もきのふ決まる

發會式は來月九日

來月は九日間もお休み

秋祭と日曜、二十三日、

機関風を除く全市に給水を閉池は廿日午前十時復趨沙河鎮池は廿日午前十時復趨沙河鎮

だらうと信じますが多分大連の方で出たデマ

學校の名譽の爲

辭表を提出 東校長大連で語る

・場合のでは、 できない。 は、 できないでは、 できないできないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないできないできないでは、 できないできないできないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないできないできないできないできないできないできないできないできな 事件かる桃色 外人失踪事件

〇〇キロ放送は営初の豫定よで り約一ケ月遅れ、愈々來る十十月一日より放送開始の選びとなるが、先般來設備全く成り放送開始の選びたれて親派子放送所は最近に至り漸く右機械の部分品の到着を見るに至り、目下係員は組むの場合に至り、目下係員は組むの対象を見るに至り、目下係員は組むの対象を見るに至り、目下係員は組むの対象を表して、 には夜間は全隣各地共完全に 本土の大半及ひ沿海州方面まなでも電波が及ぶ事となり職取 者でも電波が及ぶ事となり職取 者に伴ふ放送局側のよ放送計 一者の激増を期待されてゐる、一、放送時間の變更 夜間は 十二時間の放送を行ふ、內 六時間を満洲人側に、五時間を日本人向に、残り一時

九月一日午後六時卅分より

記念放送局では来る九月一日 の電々會に創立一周年間念日 九月十五日の日満議定書調印 北急日 九月十五日の高州事 記念日、九月十八日の満州事

中の

新京支部のい會の區域は次の 地域前、雨天の際は室町小學 地域前、雨天の際は室町小學 地域前、雨天の際は室町小學

▲附屬□外第一分會(城内居 まづ新京特別市で

主要都市に 方面委員設置

年齢十六、七歳の日本人男希望者は八月二十

仕

用

四日履歴書携帶本人出頭あれ

千五百名に

いよ々々發會式の日時

城子)同第四分會(南嶺) 會員忽ち

商業學校生徒一同は二十三日

新京衛成病院に於て加振中で あつた各部除傷病兵三十七名 は軍醫一名、看護兵九名に附 添はれ、二十四日午前十一時 一般列車で大連經由日本へ歸

▲千葉千代古氏(中央通り四番地)三男敵さん二十日出生 一十五番地)三女みどりさん十七日出生 一十五番地)三女みどりさん十七日出生 一十五番地)二十三日午前。時十五分死亡

交都大臣挨拶、村十一時州 分より(東京)満洲観々歌 分より(東京)満洲観々歌 (費田外務大臣挨拶、午後記 質園遊會實況放在 質園遊會實況放在 質園遊會實況放在 一九月十八日、未足であるが 新京及ひ奉天より事變追憶 一個長更に變刈軍同令官又は 四尾登謀長の講演、東京よ りは本庄侍從武官長の講演 を依頼の豫定である

大経路六號(民政部前)

電話二三二九番

運轉手募集

新京署保安係

では直に右違反者 収者百三十名に達 収者百三十名に達

(大連)山内總裁及ひ藤井 河七時より(新京)丁交通

▲九月十五日午前十一時五分

無届嚴重取締

新京署更に調査開始

女給の

るいきさつでもあるかの如く 人會との間に如何にも複雑な

新鮮なる高級果實

をれてあるが、また中央通を が、家族の者が聯合婦人 を夫人、家族の者が聯合婦人 を夫人、家族の者が聯合婦人 **欅ではない** には次して紙一重の距りある 學校園書室へ金一封寄附

傷病兵卅七名

料理組合)同第三分會(寬

制剂

二丁目三番地ノ四へ 四へ 四へ ▲石川正男氏 日本橋通りか





雇 廣 東軍 告 司 令

右者都合に依り八月二十日限り解雇仕候間爾今弊店とは何等關係無之候に付此段廣告仕候 昭和九年八月二十日 明 田 男

土建金物商會新京支店 支配人





先つは御師御挨拶申上げますをさるやかながら開業致す事を本林堂醫院在職中は一方極暑の節益々御清祥の御事と 隨時 午前八時より二時まで お 需に應ず

吉野町 丁目十

電話五五五

日二ピあ會大 二十六日〈日曜日〉午

△檢車區

△新京驛

△地方事務所B組 佐々木、山口、湯山、樋口 焼枝、森山、

鮮銀對滿銀 満銀辛勝す

道仲双方よく打ちよく守りフ (贔審)審判の下に滿銀先攻 にて開始されたが此對職技倆 年より篠原(球審)中関、阿部 鮮銀對滿銀觀は二十二日四時

小兒科